



2021 9月号

徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校新聞

後期開始

9月6日、後期のカリキュラムが始まりました。1限目は、校長講話及び各課オリエンテーションを行い、一ヶ月余りの夏季休業を終えた学生たちは、新たな気持ちで後期初日に臨みました。



午後の
そらそう
じゃ定例
部会では、
7月に行
われた「と
くしまマ
ルシェ」の
報告があ
りました。
販売品目、
売り上げ、
成果と課
題等を担
当学生が
報告しま
した。

農業・6次産業 体験学習発表会

発表はコース別に行われ、学生は1人8分の持ち時間内で、記録写真やグラフ等を効果的に用いて発表していました。



緊張の面持ちで順番を待つ学生たち

9月22日、2年次生が体験学習発表を行いました。体験学習は、県内の農家、農業関係企業等にご協力いただき、1年次に2回、2年次に2回、延べ約4週間に渡る就業体験学習です。その総括として、学生は、それぞれが製作したプレゼン資料を用いて、発表を行いました。内容は創意工夫が凝らされており、分かりやすくまとめられていました。

発表の様子



当日は1年次生も参加し、2年次生一人一人の発表を真剣に聞き、教職員とともに発表内容や発表者の態度等を評価しました。
1年次生は、後期の1月に2週間、3月に2週間の農業・6次産業体験学習を控えています。
先輩たちの発表をお手本とし、自分の体験学習先や学習内容の構想、また、プロジェクト研究に生かしてほしいです。